

## 恵泉教会木曜祈祷会

リジョイス4月16日 通読：ヨブ記21章

### 1. ヨブ記21章の背景と文脈

友人たちはこれまで、「悪人は必ず悲惨な最期を遂げる」という一貫した論理でヨブを追い詰めてきました。しかしヨブは、彼らの言葉が「現実」を直視していない空論であることを見抜いています。

・**現実との矛盾**： ヨブは友人たちに、「どうか、わたしの言葉を聞いてくれ」（2節）と前置きし、世の中の実際の姿を突きつけます。友人たちは「悪者は短命だ」と言いましたが、現実はどうでしょうか。

「なぜ、神に逆らう者が生き永らえ／年を重ねてなお、力を増し加えるのか。」（ヨブ記 21:7）

・**神に逆らう者の繁栄と安らかな死**： ヨブの観察によれば、神に向かって「ほうっておいてください。あなたに従う道など知りたくもない」（14節）と豪語する者たちが、実は子孫に恵まれ、家は平和で、何の恐れもなく過ごしています。しかも、彼らは「幸せに人生を送り／安らかに陰府（よみ）に赴く」（13節）という、正しい者が報われない不条理がまかり通っています。

・**空しい言葉への怒り**： 友人たちの言葉は、目の前の現実を無視した綺麗事でした。ヨブは、苦しむ者の現実を無視して一方的な反論を繰り返す彼らの態度を「欺き」と呼びました。

「それなのに空しい言葉で／どのようにわたしを慰めるつもりか。あなたたちの反論は欺きにすぎない。」（ヨブ記 21:34）

### 2. ヨブ記21章の中心主題

この章の核心は、\*\*「神の自由と、人間の理解の限界」\*\*にあります。

・**公式に収まらない世界**： 私たちは「善いことをすれば祝福され、悪いことをすれば罰される」という因果応報の公式を好みます。しかし、ヨブはその公式が現実世界では通用しないことを指摘しました。神に逆らう者が栄え、悩む者が幸せを味わうこともなく死ぬ（25節）という不条理を認めることは、聖書が教える現実的な世界観の一部です。

・**誠実な問いかけ**： ヨブは神に逆らう者の繁栄を羨んでいるわけではありません。「なぜ、このような理不尽を神は許しておられるのか」と深く震えながら（6節）苦悩しているのです。安易な教理で神を弁護する友人たちよりも、不条理な現実には震えながら神に直接「なぜか」と問い続けるヨブの方が、真実な信仰の姿を示しています。

・**「空しい慰め」という欺き**： ヨブは、事実に基づかない神学的な慰めを「欺き」と呼びました（34節）。苦しむ者に対して、現実を無視した「正論」を語ることは、神を弁護しているように見えて、実は神の真実からも、人の痛みからも遠ざかっている行為であることを告発しています。

### 3. 黙想と適用のための質問

#### ① 神様の前に「不都合な真実」を正直に語っていますか？

ヨブは、神を敬う者が苦しみ、神を無視する者が安泰に一生を終えるという、信仰者にとって「不都合な現実」を隠さず語りました（23-26節）。

（あなたは神様との対話の中で、「信仰者ならこう思うべきだ」という建前ばかりを語っていませんか。ヨブのように、自分の理解を超えた世界の理不尽さや、神様に対する率直な戸惑いを、ありのままに差し出す勇気を持っていますか。）

#### ② 「結果」が伴わなくても、主に従い続けることができますか？

神に逆らう者は「神に従う道など知りたくもない。全能者に仕えて何になるのか」と、利益（結果）に基づいて判断します（14-15節）。

（もし、この地上で悪人が栄え続け、正しい者が報われなくても、あなたはなお、神様があなたの主であることを告白し続けますか。損得や因果応報を超えた、神様ご自身との深い結びつきを求めていますか。）

#### ③ 「どちらも塵に横たわる」という現実を、どう受け止めますか？

ヨブは、安泰に死ぬ者も、嘆きの中で死ぬ者も、最後は「等しく、蛆に覆われる」と指摘しました（26節）。

（この世の繁栄や苦難が一時的なものであることを覚えていますか。死の向こうにある神様の究極の正義と裁き、そしてキリストによる永遠の命の希望を、今の不条理な現実の中でどのように握りしめていますか。）

### 4. 祈り

真実を愛される主なる神様、

ヨブ記21章を通して、私たちの小さな理解や「正論」をはるかに超えた、あなたの主権の深淵に触れさせられました。

主よ、私たちは時として、自分の安心のためにあなたを単純な枠組みの中に閉じ込め、現実に苦しむ隣人を裁いてしまう高慢な者です。どうか、私たちの宗教的な虚飾を剥ぎ取り、ヨブのように震えながらも、あなたに向かって真実を語る誠実さを与えてください。

理解できない不条理な現実の中でも、あなたが私たちの人生の主であることを信じ抜く力を与えてください。

今、理不尽な状況に悩み、幸せを味わうこともできずにいる人々の上に、あなたの特別な慰めを注いでください。安易な言葉ではなく、十字架で沈黙し、不条理を一身に受けられた主イエスの共感が、彼らを支えてくださいますように。

私たちの主、イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン。